

性格特性語の社会的評価と個人的評価

——個人内での社会的評価と個人的評価の相関——

西岡 美和

自己の特性に対する評定では、社会的望ましさによって肯定的あるいは否定的と判断された複数の評価項目から成る尺度を準備して、その個々の項目が自己に当てはまる程度を被験者に評定させていた（遠藤，1991；Pelham & Swann, 1989）。そして、社会的評価が望ましい項目に当てはまるとすれば、肯定的な特性を持ち、望ましくない項目に当てはまるとすると、否定的な特性を持つと解釈されてきた。しかし、同じような性格特性でも、認知や表現の仕方によって評価が異なる場合がある。評定に現れた自己評価の差異は、特性の差異だけでなく、自己の特性についての認知や表現の差異であるとも考えられる。伊藤（2001）は、同じ性格特性語でも、それが自己の特性を表すときには、自尊感情の高い者は低い者よりも、より肯定的に評価することを示している。本研究では伊藤のデータを再分析し、性格特性語の社会的評価と個人的評価を整理して、両評価の特徴を探るとともに、自尊感情と特性語に対する評価との関係について検討する。

青木（1974）は行動傾向を表現する語を呈示し、良い意味であれば悪い意味に、悪い意味であれば良い意味に言い換えるように求めたところ、全ての語に対して言い換えが可能であることを示した。つまり、同じ特性を表す語について複数の言い換えが可能であり、言い換え方次第では特性語に対する評価が異なる。例えば「社交的な」という特性語は、青木では社会的評価が望ましい語だが、桑原（1986）が示すように「八方美人」と言い換えることもできる。「八方美人」は青木では望ましくない語になる。評定項目の評価のみ注目すると「社交的な」と「八方美人」は、それぞれ肯定的な特性と否定的な特性に分けられ、異なる特性であると解釈される。だが、両項目は同じような性格特性を表すと解釈でき、どちらに当てはまるとするかは個人の性格認知の違いであると理解できる。このような特性語の評価が個人の性格認知にどのように影響しているのかを検討するためには、特性語の評価を整理する必要がある。しかし、日本では青木（1971）

が検討して以来、特性語の評価に焦点を当てた研究はない。

本研究では、特性語の社会的評価の測定は、青木（1971）が特性語で表される他者に対する望ましさをを用いたことにならう。個人的評価では、できるだけ社会的評価と分離した評価を測定するために、より自己との関わりを強く反映させたい。上田・植田・湯川（1991）は、「ほめられたらうれしい」自己の側面について検討し、より自己と関わりの強い側面を反映していることを示している。「ほめられたらうれしい」は、他者によって指摘された自己の側面に対する感情である。そこで個人的評価を測定する方法として、他者が自己をある特性語で表した時の快不快の程度を用いる。

性格特性語に対するこれら2つの評価を測定し、特性語の評価を整理した上で、個人内での社会的評価と個人的評価の一致度について、個人の全体的な評価感情である自尊感情との関係から検討する。Baumeister（1993）は、自分自身を良く考えたいという欲求は誰にでもあり、自尊感情の低い者は欲求が欠けているのではなく、欲求が満たされない、葛藤している、あるいは競合している可能性があると言っている。つまり、人には、自己に関係する情報を肯定的に認知する一種のバイアスがあり、この認知バイアスを反映したものが自尊感情であると考えられる。自尊感情が自己に関する個人的な評価の認知バイアスであるならば、自己の特性に対する社会的評価と個人的評価には関連が見られない可能性がある。

調 査 1

目 的

特性語の社会的評価を測定し、社会的評価に基づいて評価が明確な肯定語と否定語、評価が不明確なあいまい語を選択する。

表1 社会的評価についての男女差と0点との差

	男子		女子		全体			男子		女子		全体	
	平均	SD	平均	SD* ¹	平均	SD* ²		平均	SD	平均	SD* ¹	平均	SD* ²
陽気な	2.49	0.67	2.30	0.80	2.38	0.76**	デリケートな	0.12	0.82	0.12	1.20	0.12	1.06
臨機応変な	2.37	0.95	2.30	0.78	2.33	0.85**	しぶとい	0.44	1.39	-0.12	1.28 M	0.10	1.35
人情に厚い	2.21	0.83	1.89	1.08	2.02	1.00**	同調的	0.19	0.98	-0.08	1.11	0.03	1.07
聞きじょうずな	1.98	1.03	1.88	1.10	1.92	1.07**	新しがりやの	0.12	1.10	-0.11	1.01	-0.02	1.05
社交的な	1.91	1.04	1.76	1.02	1.82	1.03**	執着する	0.37	1.36	-0.32	1.38 M	-0.05	1.41
融通がきく	1.93	0.77	1.67	0.98	1.77	0.91**	ずぶとい	0.16	1.38	-0.29	1.20	-0.11	1.29
粘り強い	1.74	1.05	1.77	0.86	1.76	0.93**	厳格な	-0.19	0.96	-0.11	1.10	-0.14	1.04
自立的	1.77	0.87	1.76	1.11	1.76	1.02**	口じょうず	0.23	1.29	-0.44	1.33 M	-0.17	1.35**
話しじょうず	1.74	1.09	1.74	1.35	1.74	1.25**	孤独を好む	-0.16	1.09	-0.20	1.03	-0.18	1.05
協調的	1.74	0.93	1.61	1.01	1.66	0.97**	口数の少ない	-0.12	0.96	-0.24	0.82	-0.19	0.88*
気軽な	1.65	0.84	1.62	0.89	1.63	0.87**	ぬけた	-0.16	1.25	-0.27	1.14	-0.23	1.18*
エネルギーが豊富	1.70	1.04	1.58	0.93	1.62	0.97**	実利的な	-0.28	0.93	-0.32	1.05	-0.30	1.00**
てきぱきした	1.77	0.90	1.50	0.95	1.61	0.93**	現実離れした	-0.21	1.25	-0.55	1.04	-0.41	1.13**
熱中する	1.63	0.93	1.58	0.93	1.60	0.92**	線の細い	-0.26	0.76	-0.53	0.83	-0.42	0.81**
茶目っ気のある	1.37	0.90	1.71	0.99	1.58	0.97**	我が強い	-0.60	1.50	-0.68	1.30	-0.65	1.38**
冷静な	1.67	0.94	1.36	0.97	1.49	0.97**	八方美人	-0.33	1.13	-0.88	1.05 M	-0.66	1.11**
話し好きな	1.56	1.01	1.39	0.96	1.46	0.98**	場当たりの	-0.63	1.05	-0.70	1.19	-0.67	1.13**
情熱的な	1.65	0.84	1.23	1.06 M	1.39	1.00**	がんこな	-0.58	1.03	-0.83	1.09	-0.73	1.07**
太っ腹な	1.35	1.09	1.29	1.06	1.31	1.07**	荒々しい	-0.42	1.18	-0.97	1.01 M	-0.75	1.11**
大胆な	1.44	0.85	1.20	1.03	1.29	0.97**	聞いてばかりの	-0.58	0.91	-0.88	1.20	-0.76	1.10**
あっさりとした	1.05	1.07	1.33	1.01	1.22	1.04**	むこうみずな	-0.65	1.13	-0.85	1.18	-0.77	1.16**
直感的な	1.12	0.93	1.23	0.99	1.18	0.96**	非論理的	-0.72	1.12	-0.86	1.05	-0.81	1.08**
ロマンティックな	1.40	0.95	0.94	1.12 M	1.12	1.08**	幼稚な	-0.53	1.05	-1.03	1.21 M	-0.83	1.17**
慎重な	1.21	0.91	1.05	1.00	1.11	0.97**	のほせやすい	-0.56	1.16	-1.02	1.02 M	-0.83	1.09**
勇猛な	1.26	0.98	0.79	0.98 M	0.97	1.00**	気の弱い	-0.81	1.03	-1.09	0.91	-0.98	0.96**
のんびりした	0.98	1.03	0.92	1.04	0.94	1.03**	さわがしい	-1.02	1.16	-0.95	1.17	-0.98	1.16**
大人っぽい	1.12	1.14	0.82	1.01	0.94	1.07**	温室育ち	-0.81	0.91	-1.14	1.23	-1.01	1.12**
一本気	1.28	1.14	0.71	1.24 M	0.94	1.23**	ズケズケいう	-0.93	1.33	-1.11	1.25	-1.04	1.28**
世話好き	1.23	1.07	0.70	1.18 M	0.91	1.16**	せかせかせした	-0.95	0.69	-1.11	0.88	-1.05	0.81**
人に干渉しない	0.84	1.17	0.92	1.22	0.89	1.20**	執念深い	-0.37	1.25	-1.52	1.24 MM	-1.06	1.36**
おっとりした	0.88	1.05	0.89	0.93	0.89	0.98**	おせっかい	-0.65	1.19	-1.36	1.10 MM	-1.08	1.19**
現代的な	0.72	0.88	0.73	0.95	0.72	0.92**	そっけない	-1.16	1.02	-1.20	1.03	-1.18	1.02**
がむしゃらな	0.93	1.01	0.59	1.10	0.72	1.07**	野蛮な	-1.09	1.09	-1.26	0.98	-1.19	1.02**
实际的	0.77	1.04	0.64	0.91	0.69	0.96**	疑い深い	-0.95	0.92	-1.44	1.23 M	-1.25	1.14**
のんきな	0.72	1.20	0.62	1.25	0.66	1.23**	独断的	-1.19	1.01	-1.42	1.14	-1.33	1.09**
用心深い	0.70	1.04	0.55	0.95	0.61	0.98**	軽率な	-1.40	0.88	-1.32	0.99	-1.35	0.95**
現実的な	0.63	0.93	0.59	0.98	0.61	0.95**	むつりした	-1.19	1.14	-1.45	0.96	-1.35	1.04**
単刀直入	0.60	0.79	0.55	1.08	0.57	0.98**	無感動な	-1.37	1.23	-1.47	1.22	-1.43	1.22**
気が強い	0.60	1.24	0.55	1.23	0.57	1.23**	理屈っぽい	-1.09	1.17	-1.65	1.02 MM	-1.43	1.11**
古風な	0.67	0.99	0.39	0.86	0.50	0.92**	人づきあいの悪い	-1.60	1.07	-1.33	0.98	-1.44	1.02**
あきらめのよい	0.37	1.23	0.55	0.98	0.48	1.09**	冷めた	-1.49	1.24	-1.45	1.20	-1.47	1.21**
細心	0.60	1.00	0.26	1.21	0.39	1.14**	思い切りの悪い	-1.53	0.77	-1.44	1.02	-1.48	0.93**
クールな	0.44	1.10	0.36	1.25	0.39	1.19**	ルーズな	-1.51	1.03	-1.47	1.06	-1.49	1.04**
それとなくいう	0.51	1.08	0.29	1.09	0.38	1.09**	ぐずぐずした	-1.49	0.91	-1.50	1.07	-1.50	1.01**
指導的な	0.47	1.40	0.27	1.20	0.35	1.28**	粘りのない	-1.53	0.96	-1.48	1.00	-1.50	0.98**
分析的な	0.44	1.12	0.27	1.07	0.34	1.09**	情が薄い	-1.95	0.87	-1.55	0.96 F	-1.71	0.95**
情に流される	0.70	0.99	0.06	1.16 MM	0.31	1.14**	支配的な	-1.67	1.04	-1.76	1.11	-1.72	1.08**
理論的	0.49	1.26	0.18	1.12	0.30	1.18**	怠慢な	-1.63	0.93	-1.85	0.95	-1.76	0.94**
こだわる	0.42	1.55	0.15	1.52	0.26	1.53	なやなよした	-1.67	1.06	-1.88	0.89	-1.80	0.96**
淡々とした	0.23	0.90	0.24	1.07	0.24	1.00*	陰気な	-1.84	1.23	-2.05	0.98	-1.96	1.09**
おとなしい	0.49	0.98	-0.03	0.86 MM	0.17	0.94	なげやりな	-2.07	0.83	-1.89	0.98	-1.96	0.92**
おしゃべり	0.19	1.26	0.15	1.27	0.17	1.26	しつこい	-1.91	1.02	-2.08	0.97	-2.01	0.99**
もの静かな	0.26	0.93	0.09	0.96	0.16	0.94							

*1 男女差が有意であった項目について、M(F) $P < .05$, MM(FF) $P < .0$ とした*2 0点との差が有意であった項目について、* $P < .05$, ** $P < .01$ とした。

表2 個人的評価についての男女差と0点との差

	男子		女子		全体			男子		女子		全体	
	平均	SD	平均	SD* ¹	平均	SD* ²		平均	SD	平均	SD* ¹	平均	SD* ²
聞きじょうずな	5.90	1.08	6.18	0.92	6.10	0.97**	執着する	3.90	1.61	3.69	1.24	3.74	1.35*
臨機応変な	5.98	1.12	6.07	1.02	6.05	1.05**	おしゃべり	3.78	1.53	3.72	1.15	3.74	1.26*
陽気な	5.70	1.29	6.12	1.20	6.01	1.23**	新しがりやの	3.90	1.24	3.65	1.17	3.72	1.19**
話しじょうず	5.53	1.55	6.06	1.00 F	5.92	1.19**	孤独を好む	4.15	1.41	3.55	1.20 M	3.71	1.28**
粘り強い	5.70	1.16	5.96	1.08	5.89	1.11**	厳格な	4.20	1.56	3.44	1.23 MM	3.65	1.36**
人情に厚い	5.73	1.18	5.95	1.25	5.89	1.23**	現実離れた	3.85	1.73	3.55	1.46	3.63	1.54**
自立的	5.55	1.28	5.82	1.13	5.75	1.17**	口じょうず	4.08	1.80	3.27	1.58 MM	3.49	1.68**
茶目っ気のある	5.00	1.45	5.96	1.11 FF	5.70	1.28**	同調的	3.43	1.41	3.39	1.33	3.40	1.35**
社交的な	5.15	1.53	5.88	1.06 FF	5.68	1.24**	ぬけた	3.13	1.65	3.31	1.27	3.26	1.38**
てきぱきした	5.48	1.15	5.70	1.04	5.64	1.08**	冷めた	3.78	1.64	2.89	1.35 MM	3.13	1.48**
融通がきく	5.63	1.31	5.47	1.32	5.51	1.32**	独断的	3.85	1.25	2.72	1.35 MM	3.03	1.41**
熱中する	5.08	1.38	5.52	1.05 F	5.40	1.16**	ずぶとい	3.75	1.68	2.72	1.50 MM	3.00	1.61**
冷静な	5.93	0.97	5.18	1.20 MM	5.38	1.19**	ズケズケいう	3.63	1.41	2.61	1.33 MM	2.89	1.42**
エネルギーが豊富	5.15	1.53	5.44	1.15	5.36	1.27**	疑い深い	3.55	1.52	2.56	1.15 MM	2.82	1.33**
情熱的な	5.20	1.30	5.31	1.19	5.28	1.22**	支配的な	3.38	1.46	2.46	1.12 MM	2.71	1.28**
細心	4.98	1.58	5.07	1.38	5.05	1.43**	せかせかせした	2.75	1.08	2.64	1.11	2.67	1.10**
話し好きな	4.78	1.39	5.02	1.23	4.95	1.27**	思い切りの悪い	2.65	1.23	2.58	1.24	2.60	1.23**
太っ腹な	4.95	1.43	4.95	1.21	4.95	1.27**	そっけない	3.00	1.60	2.33	1.14 M	2.51	1.31**
大胆な	4.75	1.63	4.97	1.15	4.91	1.29**	おせっかい	2.58	1.36	2.43	1.04	2.47	1.13**
あっさりとした	4.45	1.47	5.03	1.29 F	4.87	1.36**	粘りのない	2.60	1.46	2.40	1.37	2.45	1.40**
気軽な	4.45	1.72	5.01	1.41 F	4.86	1.52**	温室育ち	2.63	1.48	2.39	1.21	2.45	1.29**
慎重な	5.33	1.27	4.68	1.07 MM	4.85	1.16**	理屈っぽい	3.33	1.64	2.01	1.09 MM	2.36	1.39**
協調的	4.83	1.53	4.73	1.32	4.76	1.38**	野蛮な	2.85	1.44	2.18	1.14 M	2.36	1.26**
直感的な	4.65	1.56	4.80	1.25	4.76	1.34**	執念深い	3.23	1.49	2.03	1.16 MM	2.35	1.36**
ロマンティックな	4.70	1.64	4.72	1.32	4.72	1.40**	情が薄い	2.85	1.21	2.13	1.06 MM	2.32	1.14**
デリケートな	4.48	1.60	4.64	1.33	4.59	1.40**	ルーズな	2.78	1.56	2.14	1.05 M	2.31	1.24**
クールな	5.10	1.57	4.18	1.33 MM	4.43	1.45**	人づきあいの悪い	2.85	1.53	2.02	1.11 MM	2.24	1.29**
実利的な	4.15	1.63	4.31	1.26	4.26	1.37*	なげやりな	2.68	1.23	1.87	0.99 MM	2.09	1.11**
指導的な	4.45	1.58	4.17	1.16	4.24	1.29*	なよなよした	2.10	1.10	2.04	0.92	2.05	0.97**
理論的	4.95	1.62	3.97	1.29 MM	4.24	1.45*	無感動な	2.70	1.54	1.80	0.99 MM	2.04	1.23**
こだわる	4.70	1.45	3.98	1.18 MM	4.18	1.29	軽率な	2.30	1.04	1.91	0.92 M	2.01	0.97**
あきらめのよい	4.18	1.45	4.06	1.17	4.09	1.25	しつこい	2.70	1.49	1.75	0.90 MM	2.01	1.16**
しぶとい	4.65	1.51	3.66	1.54 MM	3.93	1.59	怠慢な	2.38	1.21	1.74	0.95 MM	1.91	1.06**
それとなくいう	3.95	1.26	3.83	1.16	3.86	1.19	むっつりした	2.40	1.10	1.67	0.79 MM	1.86	0.94**
情に流される	4.05	1.68	3.79	1.17	3.86	1.32	ぐずぐずした	2.10	1.08	1.75	0.87 M	1.84	0.94**
分析的な	4.78	1.48	3.48	1.35 MM	3.83	1.50	陰気な	2.00	1.06	1.50	0.76 MM	1.64	0.87**

*1 男女差が有意であった項目について、M(F) P<.05, MM(FF) P<.01とした

*2 4点との差が有意であった項目について、*P<.05, **P<.01とした。

方法

調査協力者：近畿圏の大学生109名（男子43名，女子66名），平均年齢20.81歳，年齢範囲は19歳～26歳であった。

手続き；桑原（1986）の人格の2面性尺度に使用されている性格特性語118項目を単極式に配置して、「これらの言葉で表現される人をどの程度望ましいと感じるかを答えて下さい。」と教示した。評定は「とても望ましい」～「まったく望ましくない」の7件法であった。項目の配列が異なる質問紙を3種類用意して、各配列に調査対象者をランダムに割り当てた。得点化は、評定に従って「とても望ましい」-3点～「まった

く望ましくない」3点とした。

結果と考察

社会的評価の男女差；語の意味がわからないと指摘があった10語を除いて、男女別に評定得点の平均値を算出してt検定を行った（表1）。男女間に有意な差が見られた語は、「執念深い」、「おせっかい」、「情に流される」等の22語であった。「情が薄い」と「おおような」を除いては女性より男性の方が望ましいと評定していたことから、特性語に対する社会的評価が男性の方が肯定的であると考えられる。

特性語の社会的評価；特性語に対する社会的評価の程

度を検討するために、評定の midpoint である 0 点との差について t 検定を行った。0 点との差が有意でなかった項目は、「孤独を好む」($t(109) = -1.830, n.s.$)、「厳格な」($t(109) = -1.381, n.s.$)、「ずぶとい」($t(109) = -0.894, n.s.$)、「新しがりやの」($t(109) = -0.183, n.s.$)、「同調的」($t(109) = 0.269, n.s.$)、「デリケートな」($t(109) = 1.174, n.s.$)、「おしゃべり」($t(109) = 1.370, n.s.$)、「もの静かな」($t(109) = 1.724, n.s.$)、「こだわる」($t(109) = 1.753, n.s.$)、「おとなしい」($t(109) = 1.933, n.s.$)、「しぶとい」($t(109) = 0.782, n.s.$)、「執着する」($t(109) = -0.340, n.s.$) の 12 語であった。これらの語は社会的評価が肯定的な方にも、否定的な方にも偏っていない語である。評定得点から求めた度数分布を見るとこれら 12 項目は「どちらでもない」を頂点とした山形の分布であった。

評価が肯定的であった語としては、得点の上位 5 語をあげると、「陽気な」「臨機応変な」「人情に厚い」「聞き上手」「社交的な」であった。否定的であった語は、得点の下部 5 語をあげると、「しつこい」「なげやりな」「陰気な」「なよなよした」「怠慢な」であった。

青木 (1974) は性格記述用語から望ましさの次元として、勤勉・粘り強い性格、親切・明朗な性格、安定・落ち着きの性格の 3 次元を、望ましくない次元としては、不安定・自己中心性、消極・無気力、不親切・気どりの 3 次元を抽出したとしている。本研究で肯定的に評価されていた「陽気な」「人情に厚い」「聞き上手」「社交的な」は、親切・明朗な性格にあたりと考えられる。また、否定的に評価されていた「なげやりな」「なよなよした」「怠慢な」は、消極・無気力にあたり、「陰気な」は望ましさの次元である親切・明朗な性格の反対であると考えられる。青木が調査して以来 31 年経っているが、性格を表す語の社会的評価には、あまり変化が見られないことがわかった。

調 査 2

目 的

特性語の個人的評価を測定し、調査 1 の社会的評価と比較する。また、個人が持つ社会的評価と個人的評価との相関を求め、特性語に対する評価の一致度として自尊感情との関連を探る。自尊感情が自己に関する情報を肯定的に認知する一種のバイアスを反映したものであれば、社会的評価と個人的評価の一致度と自尊感情には関係が見られないと考えられる。

方 法

調査対象者：男子 40 名、女子 108 名を対象として、平均年齢は 20.95 歳、年齢範囲は 20 歳～27 歳であった。両方の調査に参加した被験者は 24 名で、社会的評価の測定後 6 ヶ月以上経過してから測定した。

質問紙：自尊感情測定；Rosenberg の Self-Esteem Scale (星野 (1970) が邦訳したもの) を用いた。

個人的評価と自己関連度測定；社会的評価が肯定的な語と否定的な語に焦点を当てるために、調査 1 での社会的評価の測定で評定平均値が -1 以下の 26 語、1 以上の 24 語を採用した。また、社会的評価が不明確であれば、社会的評価による影響が少なく、より個人的評価が反映されやすいと考えられることから、社会的評価が明確でない語 (以下、あいまいな語) にも焦点を当てる。調査 1 での得点分布を見ると「どちらでもない」の 0 点を基準に評定されていたことから、評定平均値が -0.5 以上 0.5 以下の語で、標準偏差が 1 以上¹⁾の 22 語を採用した。項目の合計は 72 語であった。個人的評価と自己関連度の測定は、同じ項目に対して行った。項目の配列は 3 種類用意し、各配列に対して調査対象者をランダムに割り当てた。

手続き：自尊感情、個人的評価、自己関連度の順で測定した。

自尊感情；Rosenberg (1965) の self-esteem scale について、「よく当てはまる」から「全く当てはまらない」までの 4 件法で評定させ、「次の項目について、自分に当てはまるどころの数字に○をつけて下さい」と教示した。得点化は評定尺度に従い 1 点～4 点に得点化し、自尊感情が高いほど得点が高くなるようにした。**個人的評価；**各項目について、他者からその言葉が言われたときの気分を、「とても快い」から「とても不快」までの 7 件法で評定させた。評定尺度に従って 1 点～7 点に得点化し、快く感じるほど得点が高くなるようにした。

自己関連度；各項目について、自分に当てはまる程度を「とても当てはまる」から「全く当てはまらない」までの 6 件法で評定させた。評定尺度に従って 1 点～6 点に得点化し、当てはまるほど得点が高くなるようにした。

結果と考察

個人的評価の男女差：男女別に評定得点の平均値を算出して t 検定を行った (表 3)。男女間に有意な差が見られた語は、「話し上手」、「しぶとい」、「陰気な」等の 37 語であった。「話し上手」、「茶目っ気のある」

「社交的な」、「熱中する」、「あっさりとした」、「気軽な」の6語を除いては女性よりも男性の方が快いと評定しており、男女差が見られた項目では男性の方が肯定的な評定をする項目が多かった。調査1の社会的評価でも男性の方がより肯定的な評価を行っていたことから、性格特性語に対する評価では、社会的評価、個人的評価いずれでも男性の方が肯定的な評価を持っていることがわかった。

項目の個人的評価：社会的評価と同様に、各項目ごとに全調査対象者の平均得点を算出して、評定の midpoint である4点との差についてt検定を行った(表2)。4点との差が有意でなかった項目は、「あきらめのよい」($t(148) = -1.384, n.s.$)、「それとなく言う」($t(148) = -1.374, n.s.$)、「しぶとい」($t(148) = -1.303, n.s.$)、「情に流される」($t(148) = -0.570, n.s.$)、「分析的な」($t(148) = 0.868, n.s.$)、「こだわる」($t(148) = 1.654, n.s.$)の6語であった。これらの語のうち社会的評価でも0点との差が有意でなかったのは「こだわる」と「しぶとい」の2語である。

「おとなしい」と「もの静か」は社会的評価の評定値の標準偏差が1未満であったので本調査では測定していないが、社会的評価があいまいであった12語中8語は、個人的評価では肯定あるいは否定的な評価を持つことになる。社会的評価があいまいな性格特性語は、そのあいまいさゆえに、評価の仕方によって肯定的あるいは否定的に受け取られる語があるのだろう。また「実利的な」は社会的評価では否定的に評価されていたが、個人的評価では肯定的に評価されている。調査1と調査2には調査対象者が異なることも関係しているかもしれないが、評価の仕方によって語が表す特性が少し異なることも考えられる。

評価が肯定的であった語としては、得点の上位5語をあげると、「聞き上手な」「臨機応変な」「陽気な」「粘り強い」「話し上手な」であった。否定的であった語は、得点の下部5語をあげると、「陰気な」「ぐずぐずした」「むっつりした」「怠慢な」「しつこい」であった。調査1の社会的評価と得点の上位下位の語は、ほとんど変わらず得点の平均値では社会的評価と個人的評価との差異は見られなかった。

社会的評価と個人的評価の相関と自尊感情との関係：社会的評価と個人的評価について探索的に検討するために、個人的評価を測定した調査対象者の内で社会的評価の測定にも参加した24名を対象に分析を行う。各調査対象者について社会的評価と個人的評価とのピアソンの積率相関係数を求めたところ、最小値は

$r = .517$ で中程度の相関があった。そのため、社会的評価と個人的評価での肯定語、否定語、あいまい語は一致している可能性が高い。

さらに自尊感情との関係を検討するために、自己関連度で1点～3点の項目(以下、関連語)と4点～6点の項目(以下、非関連語)に分けて、関連語と非関連語別に個人的評価の評定値と社会的評価の評定値とのピアソンの積率相関係数を求めた。この相関係数をZ変換して、変換を行った値と自尊感情得点とのピアソンの積率相関係数を求めたところ、関連語で有意な中程度の相関($r = .426, p < .05$)があった。非関連語では有意な相関はなかった($r = -.071, n.s.$)。社会的評価と個人的評価の一致度と自尊感情との関係には自己に当てはまる特性であることが影響する。

伊藤(1996, 2000)は、自己に当てはまる語では自尊感情の高い者の方が低い者よりも自己の側面を肯定的に捉えているとした。つまり、自尊感情の高い者が自己の側面に対して抱く肯定的な評価は、社会的評価と一致していると考えられる。西岡(2003)は特性語に対する感情や評価を自由記述させ、自尊感情が社会的な評価が不明確な自己の特性に対する感情や評価と関係があったことから、自尊感情は自己を特徴付ける側面を肯定的に意味付ける機能を持つとしている。自尊感情の高い者は自己の特性についての評価が整理されているために、社会的評価が不明確である特性については肯定的に認知や表現できるのだろう。

ま と め

性格特性語の社会的評価と個人的評価に焦点を当てて検討した。社会的評価が高い語は個人的評価も高く、両評価に関連がみられた。自己に対する評価は重要な他者から与えられた評価を取り入れて形成される(Harter, 1999)ことから、特性語に対する個人的評価も社会的評価を取り入れて形成されると考えられる。しかし、個人内の社会的評価と個人的な評価の相関の最低値が中程度の相関($r = .517$)であったことから、完全に一致しているわけでない。特性語に対する評価が形成される過程を知るためにも、社会的評価も個人的評価も特性語の評価を構成する1要素だと考え、それぞれの評価に影響する要因を考えていく必要があるだろう。

評価に男女差が見られた語では、社会的評価、個人的評価いずれでも男性の方が肯定的な評価を行っている語が多かった。男女差が見られた語は個人的評価の

- Baumgardner, A. H. 1990 To know oneself is to like oneself : Self-certainty and self-affect. *Journal of Personality and Social Psychology*, **58**, 1062-1072.
- Brown, J. D., Dutton, K. A. & Cook, K. E. 2001 From the top down : Self-esteem and self-evaluation. *Cognition and Emotion*, **15**, 615-631.
- Campbell, J. B. 1990 Self-esteem and clarity of the self-concept. *Journal of Personality and Social Psychology*, **59**, 538-549.
- 星野 命 1970 感情の心理と教育 (二) 児童心理学, **24**, 1445-1477.
- 伊藤美和 2000 自尊感情は認知バイアスか 甲南女子大学大学院心理学年報, **19**, 1-9.
- 桑原知子 1986 人格の二面性測定を試み-NEGATIVE語を加えて-教育心理学研究, **3**, 31-38.
- 西岡美和 2004 社会的な評価と個人的な評価を分離する場合のあいまい語の有効性について 甲南女子大学大学院論集, **2**, 45-50.
- Pelham, B. W. & Swann, Jr. W. B. 1989 From self-conceptions to self-worth : On the sources and structure of global self-esteem. *Journal of Personality and Social Psychology*, **57**, 672-680.
- Rosenberg, M. 1965 *Social and the adolescent self-image*. Princeton : Princeton University Press.
- Sanna, L. J., Turley-Ames, K. J., & Meier, S. 1999 Mood, self-esteem, and stimulated alternatives : Thought-Provoking affective influences on counterfactual direction. *Journal of Personality and Social Psychology*, **76**, 543-558.
- Smith, S. M., & Petty, R. E. 1995 Personality moderators of mood congruency effects on cognition. *Journal of Personality and Social Psychology* **44**, 1097-1107.
- 辻平治郎 1993 自己意識と他者意識 北大路書房
- 上田悦子・植田千晶・湯川雅子 1991 自己意識と重要な自己の側面 和歌山大学教育学部紀要, **40**.